

札幌市図書・情報館セミナーでがん教育 「もしも、あなたが…」に定員を上回る170名が参加

2023年5月20日（土）

5月20日（土）東京支社編成業務阿久津友紀部長が、札幌市図書・情報館のオリジナルセミナー「もしも、あなたが…～がんを知らないと言ったとしてもできる～」に講師として参加し、同じく乳がん患者の2人と自らの体験を語りました。セミナーでは乳がんを取り巻く最新情報や、治療しながら働き続けるために必要なこと、特に健康経営を推進する企業での支援制度や、リモートワークを活用した働き方など、会場に訪れた人はそれぞれ3人の話に耳を傾けていました。

参加者からは「家族や職場でどのような声掛けが心に残っていますか」などの質問もあり、職場では支援だけでなく、受け入れる企業風土や環境改善が必要などと答えました。

阿久津部長は「患者の気持ちも三人三様、十人十色。乳がんひとつとっても様々なタイプがあり、治療法も違います。多様な働き方、多様な考え方が尊重される社会を望みます。最初に相談される立場の“上司”ががんのことを少しでも知っていれば、人事などの制度のことを知っていればその後、患者さんは悩みが少なくなります。ただでさえ、り患して治療やその後の生活に不安がよぎるもの。2人にひとり、誰もがかかる可能性がある、がん。大人のがん教育、もしもに備えることが大事だと思います」と話しています。



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



OK!
みんなの元気を
守るわよ!



okちゃん

いろんな事を
知るとって
楽しいモン〜



なぞなぞモン

自分らしさについて
お話ししようね



meちゃん